

西条キャンパス整備，パーク・ユニバーシティをめざす

科研費，まず申請書の提出を 大学院整備は部局化の方向で

本シリーズの二回目として、九月二十一日に西条キャンパスの整備と問題点、校費・研究費の拡充、大学院問題などについてインタビューした。聞き手は広報委員長と平田広報委員。

広報委員 西条キャンパスの整備の見通しについて

学長 「建物に関しては文、西第一福祉施設、保健管理センター（診療部門）が年度内完成、法・経、学教が建築を開始し、中央図書館（大教センターを含む）も六年度完了予定で着々と進行している。」

キャンパス・ライフ の内容的充実という面

「現在、桜の植樹を含め、キャンパス全体の緑化計画を検討中です。由緒・歴史のある木や学部の木・花を決めて自分たちで植えれば愛着が持てるのではないかと。パーク・ユニバーシティとして市民に憩いの場として開放することも考えている。」

早く移転した学部など看板が錆びてきていると聞いている。環境整備の一環として早急に対処したい。また、食堂や喫茶などの夜間や休日の営業についても考える必要があるだろう。」

西条キャンパス内に野犬が増え、危険と聞いていますか。

「医者の立場から言わせてもらおうと、野犬は狂犬病や病原細菌、寄生虫などを宿していることがあり、感染は人命



科研費制度について勉強会もやりたい

にもかかわり非常に危険だ。野犬は餌がなくなると狂暴化するのが怖い。大学の周辺には住宅、幼稚園、小・中学校などもあり、大きな事故とならないように県の動物愛護センターと相談して対処している。動物愛護の精神尊重とこれとは別問題だ。」

深刻化する西条キャンパスの交通問題について

「学生の交通事故の率が非常に高いことは座視できない。事故に対する認識がまだまだあまいと思われるので、交通問題に関する

教育はこれからも引き続き行う。車の乗り入れ数が多いのが基本問題で、駐車場の問題なども含めて、交通問題対策委員会専門委員会で検討してもらおう。」

が

「全国の大学で十位くらいだ。学長としてはとても満足できる率ではない。採択率と額を上げるために私もできる限りのことをするが、基本的には各教官の問題なので、各教官も努力して欲しい。来年度の科研費は一〇三億円増の総額八三九億円の予定となっている。」

科研費が採択されるためにはどのような点に留意すればよいですか

「とにかく積極的に申請書を出すことだ。出さない人が多いのは残念だ。」

私も助教時代には何度も落ちている。落ちたからといって諦めず、アピールの仕方に工夫をし、何度でも出すことだ。この秋には科研費の仕組みなどに関する勉強会を文部省の担当官をよんで開催する予定だ。」

科研費以外の研究費については

「教官当り積算校費の増加は今後も望み薄だ。文部省は来年度から傾斜配分方式を採用し、約三〇億円を大学の改革度に応じて重点配分する方針と聞いている。特別な経費の要求等については文部省から通達があつて、一、二週間以内に書類提出ということもある。日頃からの部内や学部間で調整をしておくことが必要だ。科研費の配分を受けることは業績評価にもつながる。他の省庁や民間の財団などの研究助成についても積極的に申請することが大切だ。」

大学院整備の方向について新しい動きがあるようですが

「六年度概算要求の国際協力研究科（独立研究科）は開発科学の一専攻で新設のめどがついた。七年度概算要求には教育文化専攻を予定している。また並列して自然科学系研究科の横断的な再編成について、部局化の方向で検討することを大学院委員会幹事会で決めた。今後、専門委員会でも部局化を図る方向で検討してもらっている。」

フォーラムについてご意見を

「文部省の待合室に受賞号（二十三期七号）が置いてあり、誇りに思っている。最近面白くなったと専らの評判だ。今後も頑張つて欲しい。」